

## 社会理論と社会システム

**問題 15** 持続可能な開発目標(SDGs)に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 1989年にアメリカのオレゴン州で策定された、行政評価のための指標である。
- 2 生活に関する八つの活動領域から構成された指標である。
- 3 貧困に終止符を打つとともに、気候変動への具体的な対策を求めている。
- 4 1995年より毎年各国の指数が公表されている。
- 5 貨幣換算した共通の尺度によって、一律に各指標を測定する。

**問題 16** 次の記述のうち、ウェルマン(Wellman, B.)のコミュニティ解放論の説明として、**最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 特定の関心に基づくアソシエーションが、地域を基盤としたコミュニティにおいて多様に展開しているとした。
- 2 現代社会ではコミュニティが地域という空間に限定されない形で展開されたとした。
- 3 人口の量と密度と異質性から都市に特徴的な生活様式を捉えた。
- 4 都市の発展過程は、住民階層の違いに基づいて中心部から同心円状に拡大するとした。
- 5 アメリカの94のコミュニティの定義を収集・分析し、コミュニティ概念の共通性を見いだした。

**問題 17** 次のうち、人々が社会状況について誤った認識をし、その認識に基づいて行動することで、結果としてその認識どおりの状況が実現してしまうことを指す概念として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 予言の自己成就
- 2 創発特性
- 3 複雑性の縮減
- 4 ホメオスタシス
- 5 逆機能

**問題 18** 「第16回出生動向基本調査結果の概要(2022年(令和4年))」(国立社会保障・人口問題研究所)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者の割合が、これまでの出生動向基本調査の中で最も高かった。
- 2 第1子の妊娠が分かった時に就業していた妻が、子どもが1歳になった時も就業していたことを示す「就業継続率」は、2015年(平成27年)の調査の時よりも低下した。
- 3 「結婚したら子どもを持つべき」との考えに賛成する未婚者の割合は、2015年(平成27年)の調査の時よりも上昇した。
- 4 未婚男性がパートナーとなる女性に望む生き方として、結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける「両立コース」が最も多く選択された。
- 5 子どもを追加する予定がほほない結婚持続期間15~19年の夫婦の平均出生子ども数(完結出生子ども数)は、2015年(平成27年)の調査の時よりも上昇した。

**問題 19** 次の記述のうち、ライフサイクルについての説明として、最も適切なもの を 1 つ選びなさい。

- 1 個人の発達の諸段階であり、生物学的、心理学的、社会学的、経済学的な現象がそれに伴って起きることを示す概念である。
- 2 生活を構成する諸要素間の相対的に安定したパターンを指す概念である。
- 3 社会的存在としての人間の一生を、生まれた時代や様々な出来事に関連付けて捉える概念である。
- 4 個人の人生の横断面に見られる生活の様式や構造、価値観を捉えるための概念である。
- 5 人間の出生から死に至るプロセスに着目し、標準的な段階を設定して人間の一生の規則性を捉える概念である。

**問題 20** 次のうち、信頼、規範、ネットワークなどによる人々のつながりの豊かさを表すために、パットナム(Putnam, R.)によって提唱された概念として、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 ハビトゥス
- 2 ソーシャルキャピタル(社会関係資本)
- 3 文化資本
- 4 機械的連帶
- 5 外集団

**問題 21** 次の記述のうち、囚人のジレンマに関する説明として、最も適切なものを  
1つ選びなさい。

- 1 協力し合うことが互いの利益になるにもかかわらず、非協力への個人的誘因が存在する状況。
- 2 一人の人間が二つの矛盾した命令を受けて、身動きがとれない状況。
- 3 相手のことをよく知らない人同士が、お互いの行為をすれ違いなく了解している状況。
- 4 非協力的行動には罰を、協力的行動には報酬を与えることで、協力的行動が促される状況。
- 5 公共財の供給に貢献せずに、それを利用するだけの成員が生まれる状況。